

1 計画策定の趣旨

この計画は、経済状況や人口構造の変化などの社会経済情勢の動向をふまえて、今後想定される様々な課題に的確に対応しながら、より快適で便利な輸送サービスを提供していくため策定しました。

2 計画の理念

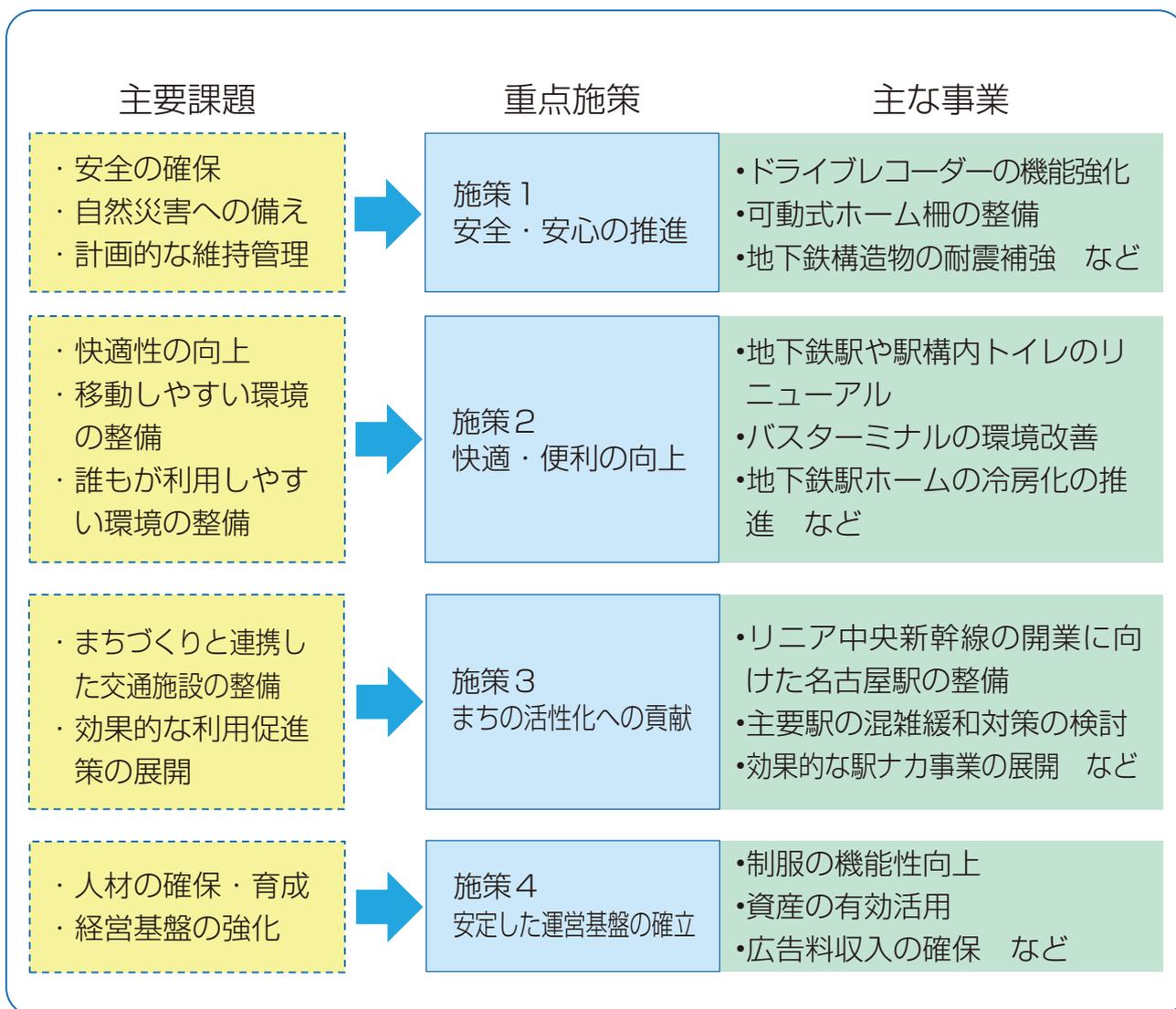
「新たなステージへ」

私たち名古屋市交通局は、安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄を目指します。

3 計画期間

令和元年度から令和5年度までの5年間(収支計画は令和10年度までの10年間)

4 課題及び施策



5 計画の進捗状況

令和4年度の決算見込において、1日当たり乗車人員及び収支状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市バス・地下鉄とも計画目標を下回りました。



市バス事業

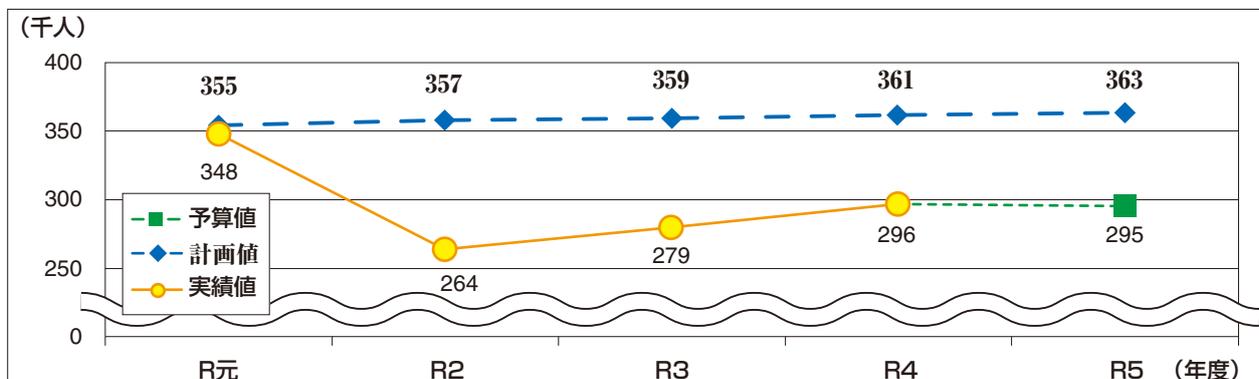
計画目標

- ・ 令和5年度に1日あたり36万人の乗車人員
- ・ 経常収支の黒字を確保
- ・ 債務超過を解消

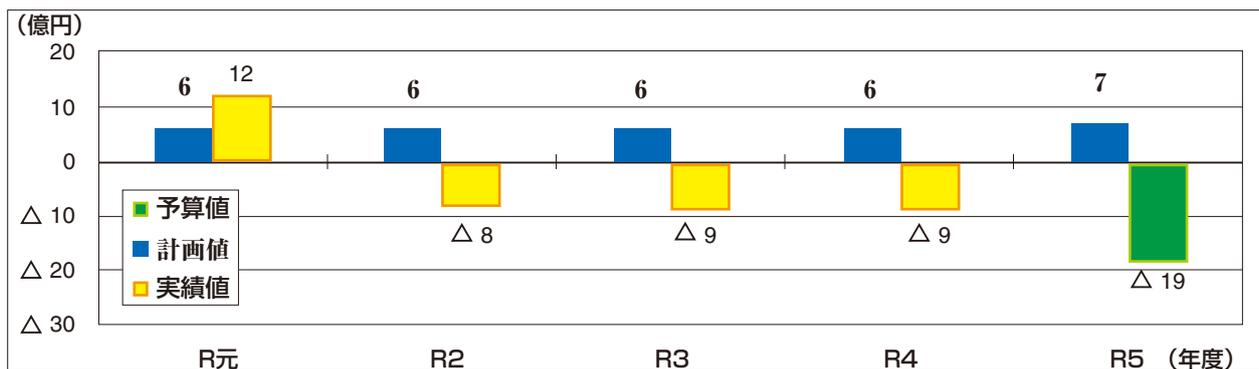
計画目標と決算（見込）の比較

区分	令和4年度 計画目標(A)	令和4年度 決算(見込)(B)	差引 (B-A)
1日当たり乗車人員	361 千人	296 千人	△65 千人
経常収支	6 億円	△9 億円	△15 億円
債務超過額	—	8 億円	8億円(悪化)

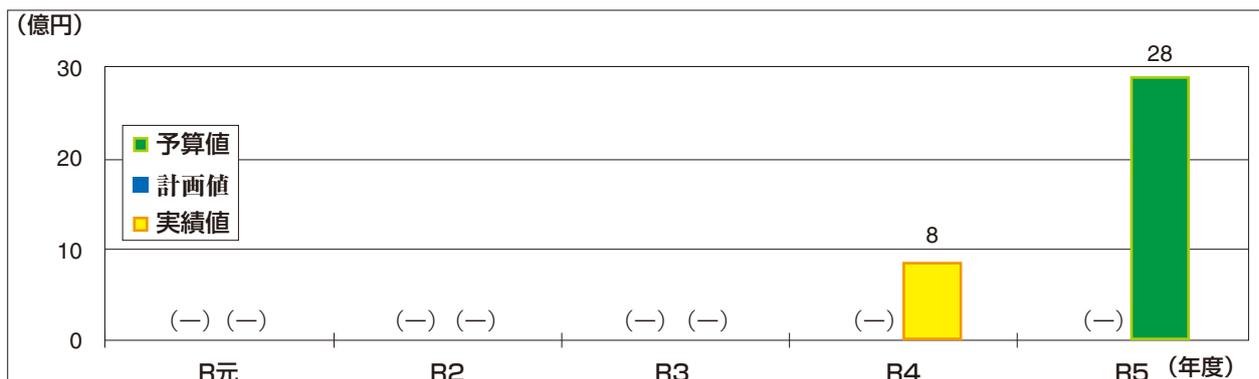
1日当たり乗車人員



経常収支



債務超過額





地下鉄事業

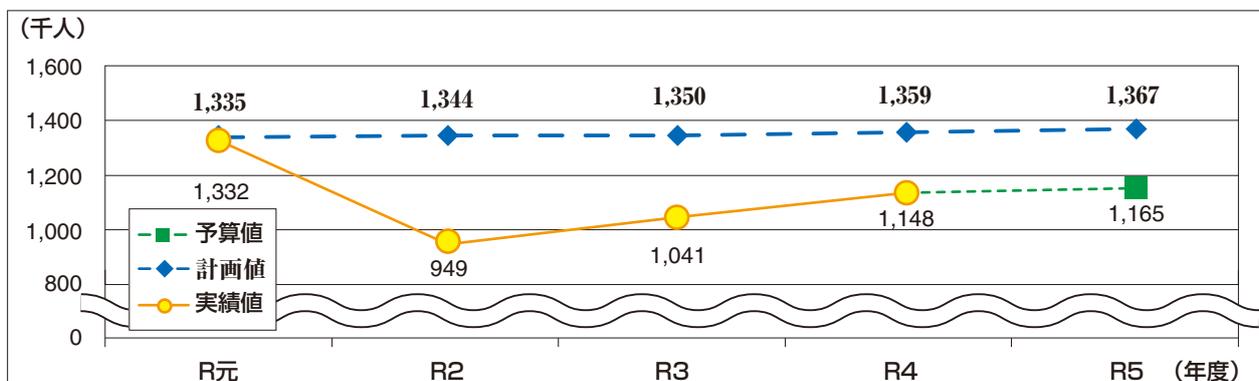
計画目標

- ・令和5年度に1日あたり137万人の乗車人員
- ・実質資金不足額を平成30年度比で840億円以上削減
- ・累積欠損金を平成30年度比で600億円以上削減

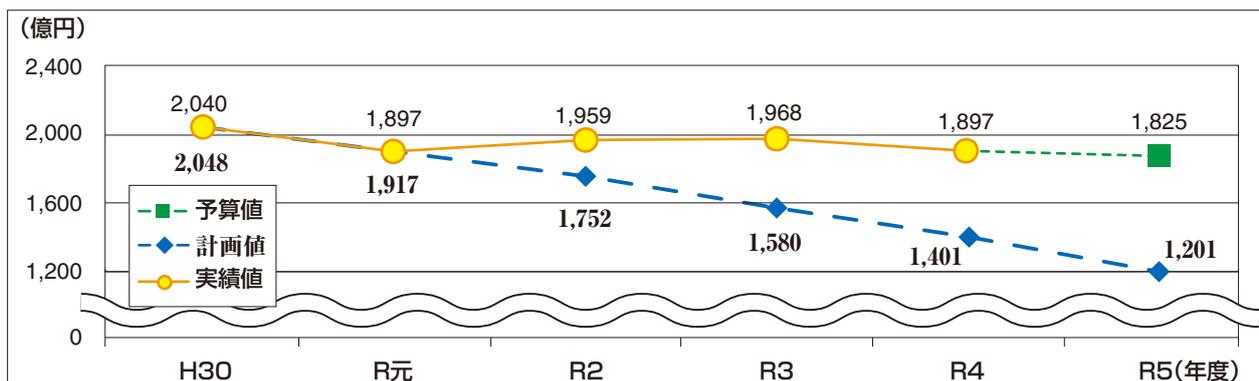
計画目標と決算（見込）の比較

区分	令和4年度 計画目標(A)	令和4年度 決算(見込)(B)	差引(B-A)
1日当たり乗車人員	1,359千人	1,148千人	△211千人
実質資金不足額	1,401億円	1,897億円	496億円(悪化)
累積欠損金	1,682億円	2,080億円	398億円(悪化)

1日当たり乗車人員



実質資金不足額



累積欠損金

